



# 相談員支援センター だより



## 生活支援相談員さん、 最近の飯舘村について教えてください！

飯舘村社会福祉協議会（社協）一主任生活支援員の安部光夫さんにお話しを伺ってきました。飯舘村は平成 29 年 3 月 31 日に帰還困難区域を除き避難指示解除となりましたが、社協の生活支援相談員がどのように住民に関わっているか、また、飯舘村の現状についてお話しいただきました。



飯舘村社会福祉協議会の拠点 「陽だまりの家」

—住民のフォローやサポートを様々担ってこられていると思いますが、具体的にこういった活動をされていますか。

飯舘村社協に所属している生活支援相談員は現在 12 名で、見守り対象としているのは村内・避難先を含め約 5,000 人です。県北・相双地域に避難している住民については避難先まで訪問します。全国全ての地域に行くことはできませんが、繋がりが途切れないよう、お便り事業を通して年 2 回村の様子を伝えるよう努めています。

現状は高齢者が先に帰村し、震災前は同居していた若い世代の家族が避難先に暮らす世帯分離のパターンが多いようです。週末になると高齢家族の顔を見に若い世代の家族が村へやってくるという話によく見聞きします。

—帰村された住民の方からはどんな話題が出ますか。

帰ってきた村の皆さんからは放射線のことより健康上の不安についての話ができることが多いです。医療施設や介護施設の充実を望む声ですね。それと、移動手段のない高齢者にとって日常の買い物の不便さが問題です。買い物をできる施設が村には少ないので、川俣町からの移動スーパーや宅配スーパーは大変喜ばれています。

—移動手段がないと、社会全体との関わりも薄くなってしまいがちになりますね。

孤立を防ぐことが大切です。もともと、村には「お助け合い事業」という外出時の送迎サポートを含む日常生活の援助制度があり、社協が窓口になって、村の皆さんに数多くご利用頂いています。本年 9 月 1 日には「サポートセンターつながっぺ」が開所しましたが、ここでも職員が送迎を行っており、日を追うごとに利用者数が増加しています。

—安心と幸せな暮らしのために見守りと適切なサポートが大切だとよく分かりました。これからの飯舘村についてですが、来年度から小中一貫校が開校すると伺っています。

今、まさに新校舎の造成工事を行っています。認定こども園及び小学校、中学校の一貫校が翌年の 4 月から開校となります。通学希望者は学年別に見ると新中学 3 年生が多くなっており、学校全体で約 90 名が通学すると伺っています。予想以上に多くの子もたちが通学するようで嬉しく思います。

—春からにぎやかになりそうで、今から楽しみです  
ね。今日はありがとうございました。

## 交通アクセス改善しています！ 国道114号再開・常磐線竜田駅-富岡駅間、再開

平成29年9月20日、国道114号は帰還困難区域の室原、津島両地区を経て川俣町につながるおよそ27kmの区間の通行を再開しました。双葉地方から県中央部に向かう道路が再開したことで、これまで以上に交通の利便性が高まりました。また平成29年11月15日には国道114号拡幅工事の起工式が行われました。川俣町小綱木地区から山木屋地区への約10kmに及ぶこの拡幅工事は平成30年代前半に終わる予定です。

国道114号が再開した約1ヶ月後の平成29年10月21日には常磐線竜田-富岡間の営業運転が再開しました。震災前より100メートル北側に移設され新しくなった富岡駅の隣には、コンビニと飲食店併設の「さくらステーションKINONE」、駅の目の前に「富岡ホテル」が新たにオープンし、利用者には大変便利になりました。

富岡駅-浪江駅の間は現在不通となっているため、毎日上り6本下り5本、計11本の代行バスが運行されています。この区間を含め一本の鉄道でつながるようになることを、浜通りに暮らす人々はずっと心待ちにしています。平成31年度末の全線開通が見通したそうですが、待ち遠しいですね。



さくらステーション「KINONE」正面

## 秋のイベント 支援センターはこんなお手伝いもしています

### ～ふたばワールド IN とみおか～

9月30日、富岡町立第一小学校・中学校の校庭を会場に約1万人の参加者がありました。支援センターは富岡町と連携協定を締結している長崎大学の健康相談ブースにて、大学が行う骨密度測定のお手伝いをしました。



来場者に説明する長崎大学の高村先生(中央) 折田先生(左)

### ～おだか秋まつり～

10月21日・22日、小高駅前通りで開催。台風21号が接近中で両日ともあいにくの雨模様でしたが、沿道はお客様でにぎわいました。南相馬市からの依頼で、内部被ばく線量測定などのお手伝いをしました。



雨が降り続くなか、地元の方々が足を運んでくれました

### ～ひろの秋まつり～



11月4日、広野町中央体育館で開催。広野町放射線相談室による放射線相談コーナーのお手伝いしました。霧箱や放射線源を実際に測るコーナーでは、立ち寄った皆さんが興味津々の様子でした。

近づけると針が振れる…。楽しい！

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターだより No.13

発行：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

連絡先：〒970-8026 いわき市平字小太郎町2-6  
いわきフコク生命ビル5F

フリーダイヤル：0120-478-100

FAX：0246-35-5158

E-mail：F-sodan@nsra.or.jp

